

# トラック運送業界へ 就職をめざす方のために



公益社団法人  
全日本トラック協会

# ごあいさつ

## これから社会人となる皆さんへ

トラック輸送は、暮らしに身近な食料品や生活用品はもちろんのこと、工業製品から巨大な建設資材まで、あらゆる物資を運んでおり、国民生活・産業活動に不可欠な存在となっています。

なかでも、輸送のプロフェッショナルとしてさまざまな分野で活躍しているのが緑地に白い数字のナンバープレート(緑ナンバー)を特徴とする「営業用トラック」です。近年では、単に物を運ぶだけでなく、製品や資材の流通加工や在庫管理も含め、物流関連事業として幅広い事業展開を図るトラック運送事業者も増えています。トラック運送業界は、わが国の高度な経済活動や豊かな国民生活に大きく貢献しながら、その活躍の場を拡大し続けています。

トラックの性能や装備も、年々向上し、充実が図られています。オートマチック変速機やエアサスペンションを装備するものもあり、操作性や乗り心地も大きく進歩しています。さらにドライブレコーダや衝突被害軽減ブレーキなど、安全性や環境対策に優れた装備の導入も進みつつあります。業界では、人や荷物にやさしく、環境保全を実現するトラック輸送を目指し、さまざまな取り組みを積極的に行っています。

わが国の物流ニーズは、経済や暮らしの持続・発展とともに拡大してきています。そして、経済活動や人々の暮らしがあるかぎり、物流ニーズが途絶えることはありません。トラック輸送産業は、将来にわたって安定的な人材ニーズがある数少ない業種であるといえます。

このパンフレットは、これから社会人となる世代の方々に、トラック運送業界の概要と仕事内容、業界で働く人たちの姿を少しでも知っていただきたいと思い制作しました。若い皆さんの業界に対する理解を助け、職業選択の参考になれば幸いです。トラック運送業界では皆さんが業界の扉をたたいてくださることを心より歓迎いたします。

公益社団法人 全日本トラック協会  
会長 星野 良三



# トラック輸送業界のいま

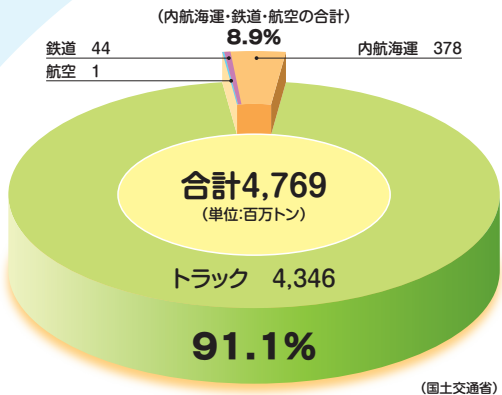
わが国の国内貨物輸送量の90%以上を担うトラック輸送。  
トラック輸送業界は、産業経済にかかわる資材から生活必需品まで、  
日本経済と私たちの暮らしを支えています。

## トラック輸送は貨物輸送の主役

平成25年度の国内貨物輸送量は、約48億トン。そのうち、91.1%にあたる約43億トンの貨物を運んでいるのがトラックです。市場規模は、トラック、鉄道、内航海運、航空など物流事業全体でおよそ24兆円であり、トラック運送事業はそのうち14兆3,685億円に上ります(平成24年度)。昭和50年度(2兆9,960億円)と比較すると、約4.8倍に拡大しています。

国土が狭く都市部に人口が集中するわが国においては、ドア・ツー・ドアの利便性を生かして、日本全国昼夜を問わず走り回るトラックへの依存度は非常に高くなっています。

【輸送機関別分担率(平成25年度、輸送トン数)】



(国土交通省)

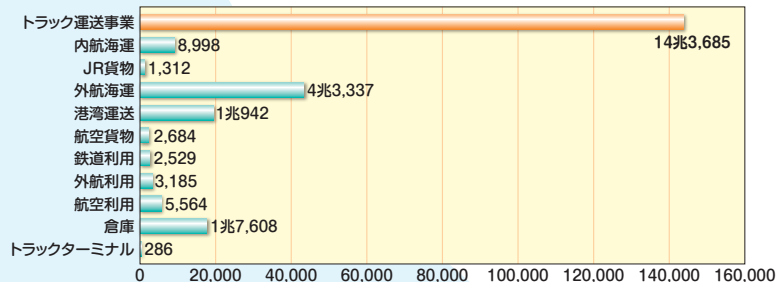
## 経済と暮らしを支えるトラック輸送

トラック輸送産業は物流の基幹産業として、わが国の高度な経済活動や豊かな国民生活を支えています。特に食料品や日用品などの生活関連物資は、そのほとんどがトラック輸送によるものです。

消費者にとって最も身近な輸送サービスである宅配便は、平成25年度には36.3億個を運んでおり、近年特に増

加傾向にあります。サービスメニューも貨物の種類やユーザーニーズに合わせて多様化してきており、引越輸送とともに多彩なサービスで私たちの暮らしを支えています。

【物流業の事業分野別営業収入(平成24年度、単位:億円)】 (国土交通省、日本物流団体連合会)



## 輸送の主力は緑ナンバートラック

トラックには、営業用トラックと自家用トラックの2種類があります。営業用トラックは、貨物運送を目的に国土交通大臣から営業を許可されたトラック運送会社のトラックであり、緑地に白い数字のナンバープレート(緑ナンバー)が特徴です。自家用トラックは、企業やお店などが自分の荷物を運ぶため使っているトラックで、ナンバープレートは白地に緑の数字(白ナンバー)になっています。

わが国で登録されているトラックの台数は、約755万台(平成25年度末)。このうち営業用トラックの占める割合は18.2%ですが、トラック全体の年間総輸送量に占める営業用トラックの割合は68.8%(平成25年度)であり、トンキロ\*では86.3%の輸送を担っています。また、営業用トラックは自家用トラックに比べ輸送効率が約10倍優れており、環境負荷の低減や省エネなどの観点から、自家用から営業用への転換が求められています。

\*トンキロ：輸送の仕事量をあらわす単位で、トン数に輸送距離を乗じたもの。1トンの荷物を10キロメートル輸送したときの仕事量は10トンキロとなる。

## さまざまなものを運ぶ営業用トラック



建築資材など重量物を運ぶダンプカー



液体を運ぶタンクローリー



車の運搬を行うキャリアカー



サービスが多様化する引越し輸送



宅配便の年間取り扱い数は36億個を超えた(平成25年度)



新幹線を輸送するトラック

## 災害時緊急物資輸送

トラック輸送は日々の暮らしを支えるだけでなく、災害発生時にも重要な役割を果たしています。平成23年3月11日に東日本大震災が発生すると、翌12日の未明には緊急物資輸送がスタート。同年6月末までに、被災地に飲料水460万本、食料品1,898万食、毛布46万枚を届けました。このほかにも各地での自然災害発生時には、トラックが優れた機動力を発揮し、いち早く支援物資を輸送しています。



緊急物資第一次集積地(岩手産業文化センター アビオ)

## 業界をあげてのさまざまな安全対策

公共の道路を使用して業務を行うトラック運送業界では、交通安全、事故防止への取り組みは最重要課題であり、年間を通してさまざまな交通安全対策を推進しています。

全国交通安全運動への参加はもちろん、高速道路での安全パトロールの実施や、トラックドライバーの安全意識と運転技能向上を図るため昭和44年から開催している「全国トラックドライバー・コンテスト」など、業界をあげての取り組みを展開しています。

また、衝突被害軽減ブレーキや後方視野確認支援装置、EMS(エコドライブ・マネジメントシステム)などの新技術により安全性を高めた先進車両の導入助成の実施や、営業用トラックドライバーを総合的にサポートする施設「トラックステーション」の運営を全国で展開しています。



第45回全国トラックドライバー・コンテスト優勝者による内閣総理大臣表敬訪問



衝突被害軽減ブレーキを装着した大型トラック

## 環境にやさしいトラック輸送の実現に向けて

トラック運送業界では、従来から自主的に環境対策に取り組んでいます。全日本トラック協会では、平成26年3月に「新・環境基本行動計画」を策定し、エコドライブの促進やアイドリングストップの徹底、先進環境対応車の導入促進などの具体的なメニューに従って、業界をあげてCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいます。また、日本経済団体連合会の「低炭素社会実行計画」にも参画し、業種の枠を超えた環境対策に協力しています。

このほか、地球温暖化対策の一環として森林保全のための「トラックの森」づくり事業、「美しい森林づくり全国推進会議」への参加など、植樹の取り組みを業界全体で行っています。



「トラックの森」づくり事業(北海道札幌市 茨戸川緑地)

### データで見るトラック輸送

トラック運送事業者数	6万2,905者	(平成25年度、国土交通省)
営業用トラック台数	137万2,140台	(平成25年度、自動車検査登録情報協会)
道路貨物運送業就業者数	185万人	(平成26年度、総務省)
トラック運送事業収益	14兆3,685億円	(平成24年度、国土交通省、日本物流団体連合会)

# トラック輸送の仕事とやりがいを語る

みなさんは、トラック運送業界とその仕事内容についてどのようなイメージをお持ちでしょうか。ひとくちにトラック輸送といっても、そこにはさまざまな業務があります。第一線で活躍する3人の先輩に、仕事のやりがいや魅力について語っていただきました。

協力：(株)ジェイアール東日本物流 大宮支店

齋藤 譲さん

トラックドライバー

## 「トラックに乗りたい」という気持ちからスタート

ジェイアール東日本物流大宮支店では、駅構内店舗で売られる新聞・雑誌や、駅構内に置かれるフリーペーパーなどを配送するほか、駅の移転や設備のリニューアルなどに伴う引越業務を行っています。

### —トラック運送業界を志望したきっかけは？

もともとトラックへの憧れがあり、「トラックに乗りたい」と思ったことが、この業界に入るきっかけでした。

### —入ってみて、どうでしたか？

決して楽な仕事とは言えませんが、職場はとてもアットホームな雰囲気です。運行計画に従って勤務時間が決められ、休憩や食事などは規則正しく取れますし、休日も確保されています。休みの日は友達と出かけたりしてリフレッシュしています。

### —やりがいを感じるのはどんなときですか？

やはり運転をしているときに、一番充実していると感じます。これからもずっとトラックに乗っていたいと思います。



出発前のアルコールチェック

### —仕事中どんなことに気をつけていますか？

安全や環境への配慮はもちろんですが、運転が上手な先輩をお手本にしながら常に運転技術の向上を心がけています。車にはデジタルタコグラフという車両運行記録装置が搭載されていて、エンジン回転数、アイドル時間、走行距離、速度、急発進・急ハンドルなどの運行記録が解析され、安全運転やエコドライブの点数が出るようになってい



ます。いつも100点が基本ですが、自分の運転をチェックすることは大切だと思います。

### —高校生のみなさんへ、メッセージをお願いします。

私自身、高校ではやりたい仕事がなかなか決まりませんでした。また、自分に何ができるのかという不安もありました。でも縁あって今の会社に入り、先輩や同僚のみなさんと充実した毎日を送っています。何事もやってみないとわからない。だから何でもやってみよう方がいいと思います。



車両点検もドライバーの大切な仕事

青木 謙一さん | 運行管理者

## 安全運行の管理から、物流システムを支える

運行管理者は事業用自動車の運行には欠かせない仕事で、安全運行に関するさまざまな業務を行います。主に運転者の乗務割の作成、休憩・睡眠施設の保守管理、運転者の指導監督、点呼による運転者の疲労・健康状態の把握、安全運行の指示などを行っています。運行管理者は、年2回実施される国家試験の合格者から、営業所ごと車両数に合わせて選任されます。

—**運行管理の仕事をするうえで、気をつけなければならないことは。**

物流業界の業務も専門職化、多様化が進んでいますが、運行管理者は大きな視野で業務全体を見る必要があります。乗務割の作成にあたっては、ドライバーの健康状態も考慮に入れ、道路の混雑状況などを予測してゆとりを持った乗務割を作成します。安全・確実に運行できることが最も大切です。

—**トラック運送業界に入って良かったと思うのは。**

どんなにIT革命が進んでも、最終的には“モノ”が動かなければ経済は成り立ちません。物流業には大きな社会的使命があり、自分たちの仕事の人々の暮らしを



支えていると思うと、やりがいを感じます。毎日の仕事の中では、やはり荷主さんに「ありがとう」と言われたときが一番うれしいですね。

—**高校生のみなさんへ、メッセージをお願いします。**

トラック運送業界は、若い人たちの「こんな仕事がしてみたい」「やってみたい」という気持ちを尊重して、いろいろなことに挑戦させてくれる業界だと思います。私たちもそんな環境づくりに努めていきますので、ぜひチャレンジしてほしいと思います。

川沼 摂子さん | トラックドライバー

## ドライバーは、人と人がつながる仕事

女性の社会進出が進むなか、トラック運送業界でもたくさんの女性ドライバーが活躍しています。トラック運送業界では、女性が長く安心して働けるよう、職場環境のさまざまな改善に取り組んでいます。

—**ドライバーになると思ったのはどうしてですか？**

机に向かってする仕事より外に出る仕事のほうが自分には合っていると思いますし、大きなトラックを上手に運転してみたいとも思っていました。女性だから、男性だからという条件や偏見のない職場でしたから、「やってみたい」という気持ちがどんどん出てきて、ドライバーになりたいと自分から申し出ました。

—**ドライバーの魅力とは？**

ドライバーの仕事は、運転するだけでなく、外で多

くの人に出会って人と人とのつながりができていくことが大きな魅力です。配送先で「おはよう、がんばってるね」と声をかけられると、本当にやって良かったと思います。体力的なハンデはあるかもしれませんが、自分なりにステップアップを目指してこれからも頑張ります。





公益社団法人  
**全日本トラック協会**

〒160-0004 東京都新宿区四谷三丁目2番5 全日本トラック総合会館

TEL 03-3354-1009(代表) FAX 03-3354-1019

<http://www.jta.or.jp/>